

令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における茨田西小学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成31年4月から令和元年7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年の原則として全児童
- ・茨田西小学校では、5年生 117名

3 調査内容

- ・児童に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
小学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、
50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童質問紙調査」という。）
を実施する。

令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

茨田西	小学校	児童数	117
-----	-----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.19	17.98	29.98	49.25	45.89	9.24	151.11	19.77	52.54
大阪市	16.40	19.40	32.70	39.96	48.15	9.41	149.30	21.44	52.53
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
女子	16.84	17.21	38.28	45.79	35.84	9.43	151.03	12.89	56.00
大阪市	16.15	18.51	37.54	38.38	38.97	9.65	142.68	13.31	54.47
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59

結果の概要

- 8種目中、男子は大阪市平均を3種目で上回り、2種目においては、全国平均を上回った。女子は、3種目を除き、大阪市平均に及ばなかったが、5種目においては、全国平均を上回る健闘がみられた。
- 男女とも反復横とび、50m走においては、全国・大阪市平均を上回り、特に反復横とびは、全国平均を大きく上回る結果が見られ、敏捷性の伸びが見られた。
- 20mシャトルランについては、男女ともに記録が低く、昨年度に引き続き、運動を持続する力において、全国・大阪市平均と開きが見られ、課題が残った。
- 体力合計点は、男子は大阪市の平均点をとほぼ同等、女子は、全国・大阪市平均を上回る結果であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

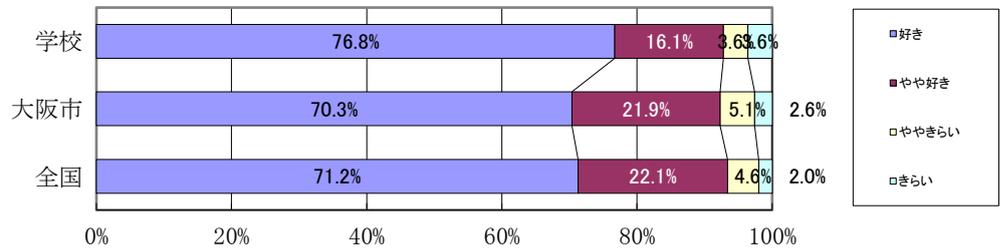
- 本年度も昨年度に引き続き、研究教科を体育とし、「運動することの楽しさや喜びを味わえる子どもを育てる」ことを主題として授業研究を進めてきた。準備運動での、音楽を使った体ほぐしの運動は、本年度も継続し、リラックスして本時の活動へつなげていく工夫が定着した。その結果、学校アンケートにおける、「体育の時間に体を動かすのは楽しい」の項目で、肯定的にとらえている児童は、90%以上を本年度も維持し、研究の成果がみられた。
- 各学年とも、学年に応じたがんばりカードを工夫して作成し、楽しみながら体力向上へとつなげていくことができた。また、体育の学習以外の時間にも運動に親しむ、児童の自主的な活動をうながすことができた。
- 体育学習時の運動量の確保を本年度の課題として取り組んだ結果、「体育の授業では、たくさん動く」と感じている児童の割合が、全国・大阪市平均よりも高い結果であった。
- 運動を持続する力の育成のための具体的な取組みを検討していく。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

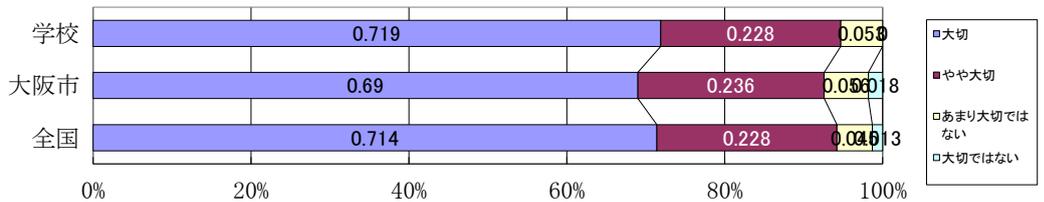
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



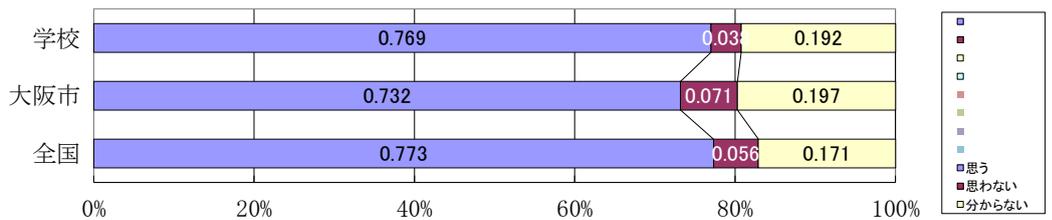
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



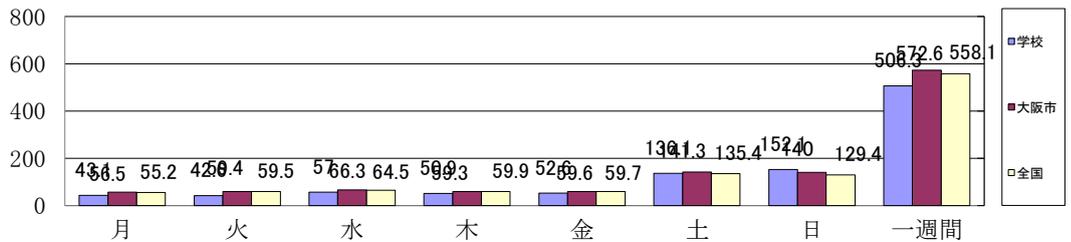
4

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。



5

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを、合計で1日おおよそ何分くらいしていますか。



成果と課題

- 「運動やスポーツは大切だ」と肯定的な回答をしている児童の割合は、全国・大阪市よりも高い傾向にあり、将来にわたって、運動やスポーツを持続していこうという意識が感じられる。
- 土、日に運動やスポーツに親しむ割合は、全国・大阪市とほぼ同等であるが、1週間を通してみると、その割合は、全国・大阪市よりも低い傾向にある。

今後の取組

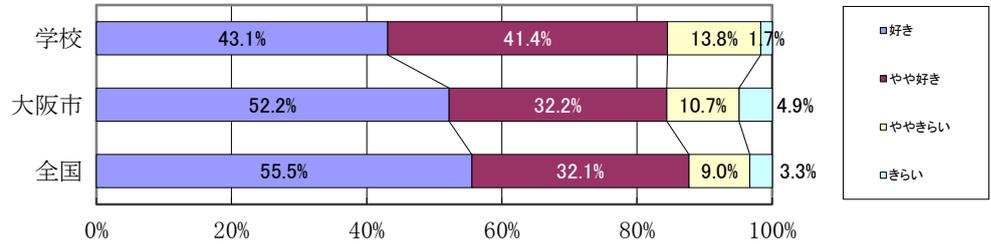
- 運動やスポーツを好きだと感じ、生涯にわたり運動・スポーツに親しもうとする児童の育成を図る。
- 運動やスポーツをする習慣を生活のなかに位置づける。

運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

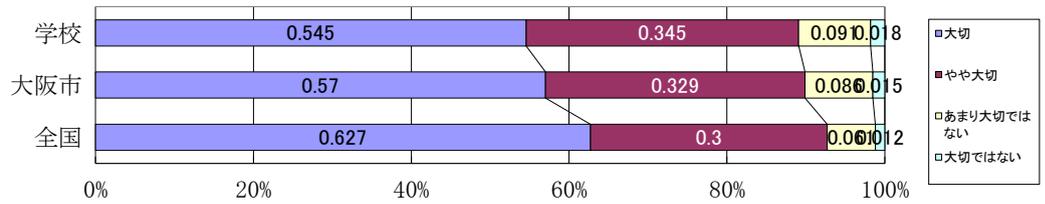
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



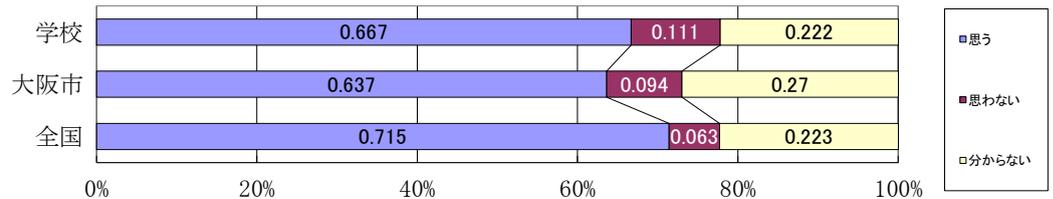
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



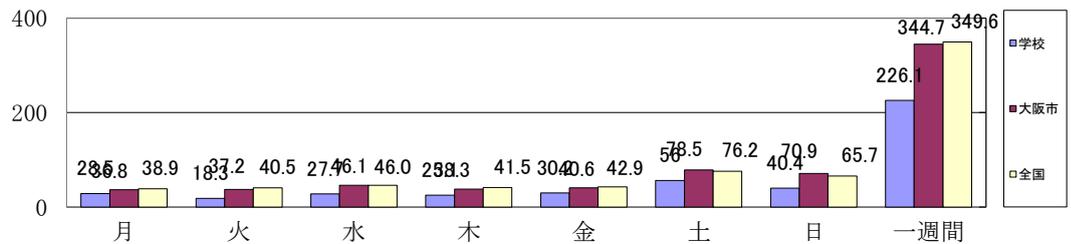
4

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



5

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを、合計で1日おおよそ何分くらいしていますか。



成果と課題

- 「運動やスポーツは大切だ」と肯定的な回答をしている児童の割合は、全国・大阪市よりも低い傾向にあり、また、運動やスポーツが好きだと肯定的にとらえている割合も低い。
- 運動やスポーツする時間を持ちたいと感じてはいるものの、実現していない状況で、一週間を通じて運動やスポーツを学校の授業以外でしている児童の割合は低い。

今後の取組

- 運動やスポーツを好きだと感じ、生涯にわたり運動・スポーツに親しもうとする児童の育成を図る。
- 運動やスポーツをする習慣を生活のなかに位置づける。
- 運動やスポーツは健康を維持するために不可欠なものであり、大切であることを啓発していく。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

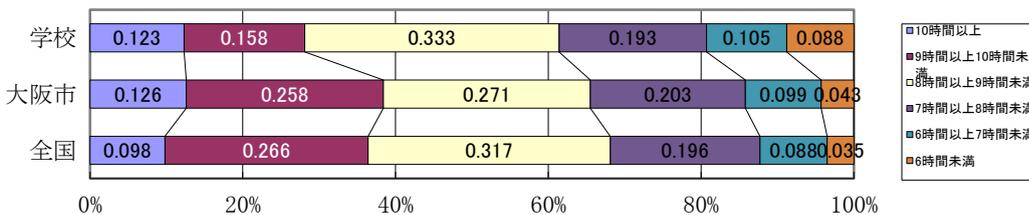
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



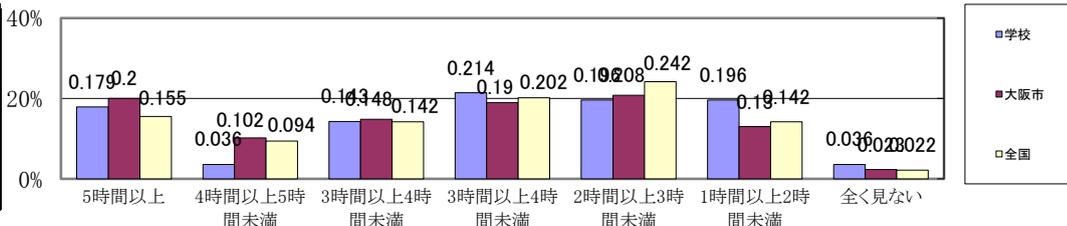
7

毎日どのくらいねていますか。



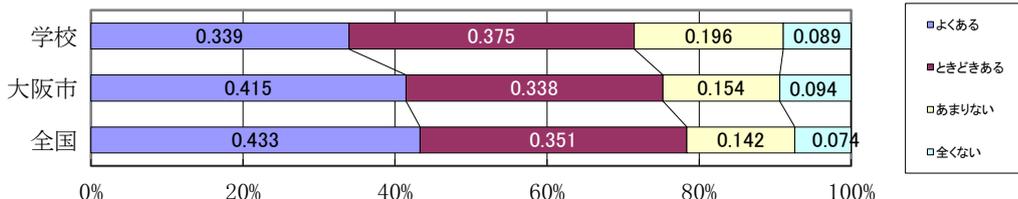
8

平日(月～金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



10

放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊ぶをふくむ)やスポーツをすることができますか。



成果と課題

- 朝食を毎日食べている児童の割合は大阪市・全国平均より高く、生活習慣として位置づいている。
- 睡眠時間に関しては、全国・大阪市よりも短い傾向にある。
- 平日にスマートフォンやパソコン等の画面を見る時間は、3時間から4時間が最も多い。

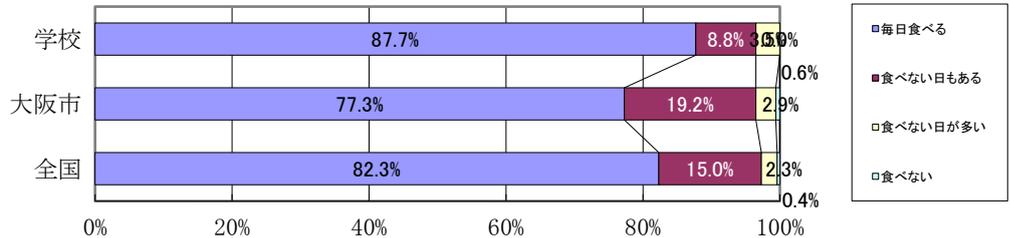
今後の取組

- 家庭と連携して、朝食を食べる習慣を引き続き確立し、睡眠時間やテレビ等の視聴の時間の改善を図る。

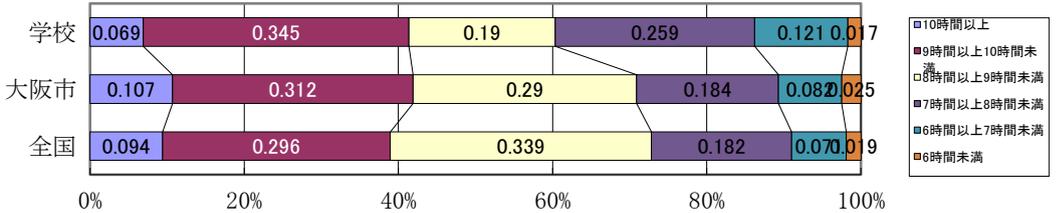
ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

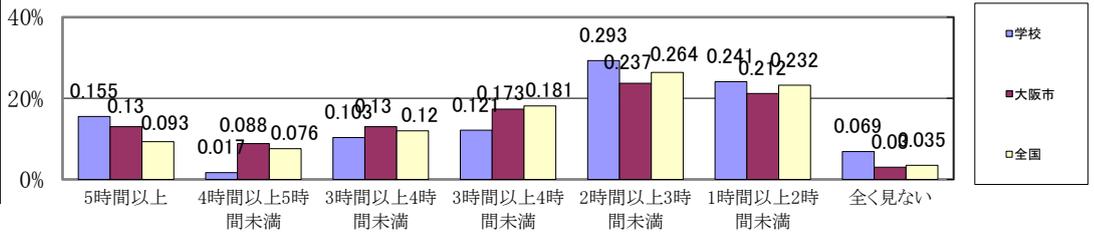
6
朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



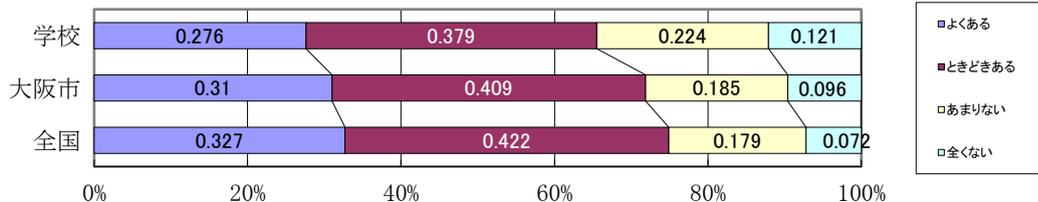
7
毎日どのくらいねていますか。



8
平日(月～金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



10
放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊ぶをふくむ)やスポーツをすることができますか。



成果と課題

- 朝食を毎日食べている児童の割合は大阪市・全国平均より高く、生活習慣として位置づいている。
- 睡眠時間に関しては、9時間以上が40%いる一方で、8時間未満も同じ割合を占め、二極化が見られる。
- 平日にスマートフォンやパソコン等の画面を見る時間は、2時間から3時間が最も多いが、5時間を超えている児童も見受けられる。

今後の取組

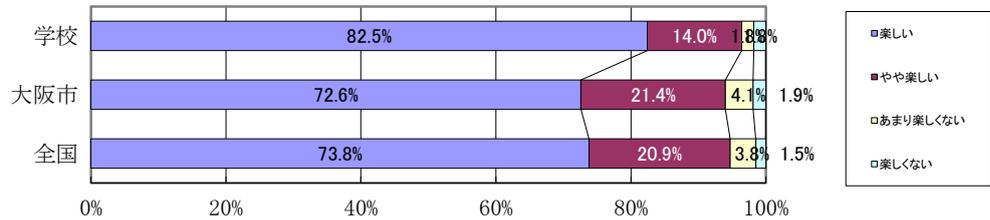
- 家庭と連携して、朝食を食べる習慣を引き続き確立し、睡眠時間やテレビ等の視聴の時間の改善を図る。
- 家庭と連携して、自主的な運動習慣を身につけさせる。

体育の授業について（男子）

質問番号 質問事項

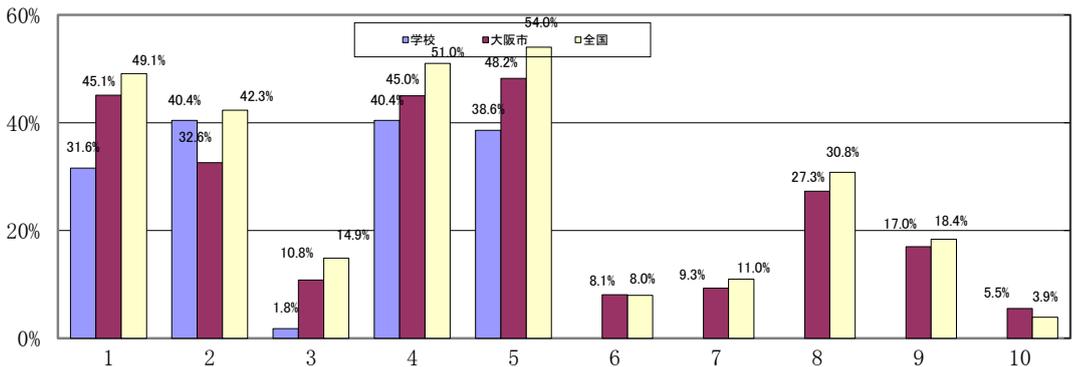
11

体育の授業は楽しいですか



17

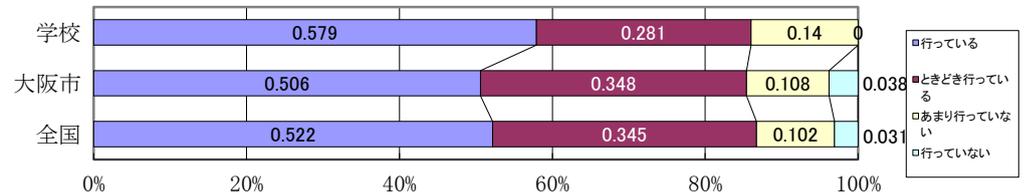
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のままねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

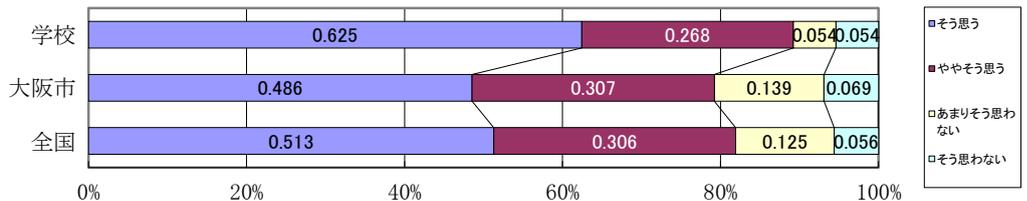
16

体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。



21

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

- 研究の成果もあり、「体育の授業を楽しい」と肯定的に感じている児童の割合は、全国・大阪市より高い。
- できなかったことをできるようにしようと自身で工夫する割合が高い。
- 授業中の話し合い活動が定着しつつある。
- 体育の学習が将来役に立つと感じている児童の割合が高く、全校・大阪市を上回っている。

今後の取組

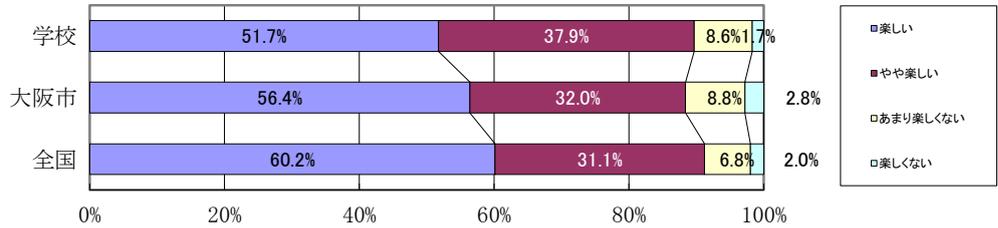
- 授業中の話し合い活動をより充実したものにする取組みをさらに推進していく。
- 自身の工夫、友達との交流を通して、技術の習得・向上が図れる場の設定をする。

体育の授業について（女子）

質問番号 質問事項

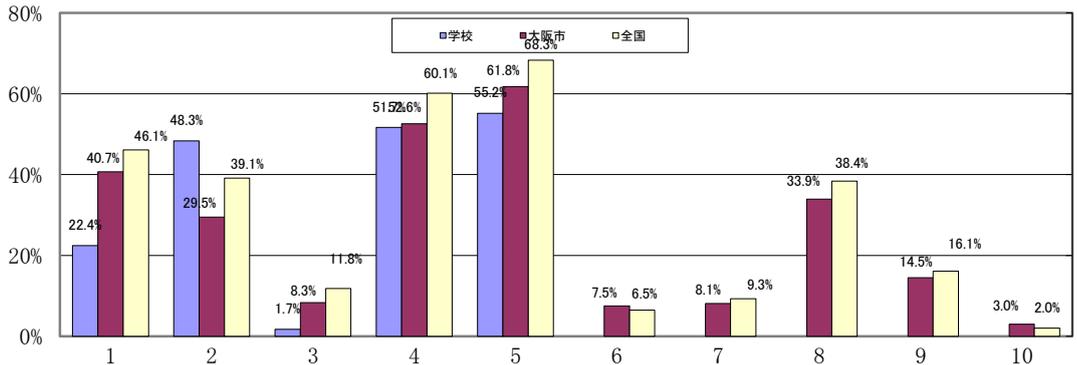
11

体育の授業は楽しいですか



17

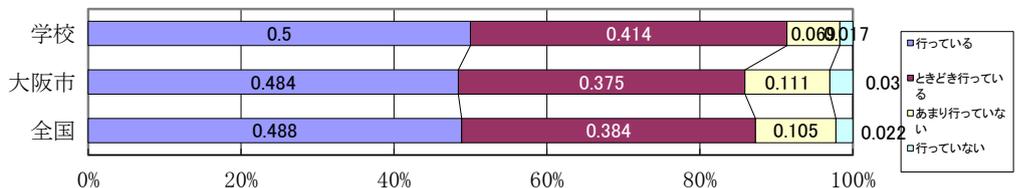
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

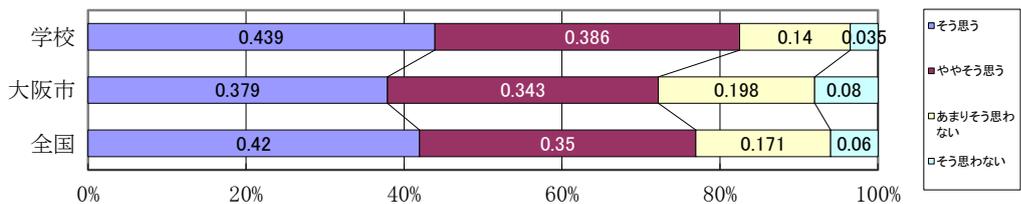
16

体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。



21

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

- 研究の成果もあり、「体育の授業を楽しい」と肯定的に感じている児童の割合は、昨年度より増えている。
- 友達との交流を通して、できなかったことができるようになった割合が高い。
- 授業中の話し合い活動を意識するようになり、全国・大阪市より高い割合を占めている。
- 体育の学習が将来役に立つと感じている児童の割合が高く、全校・大阪市を上回っている。

今後の取組

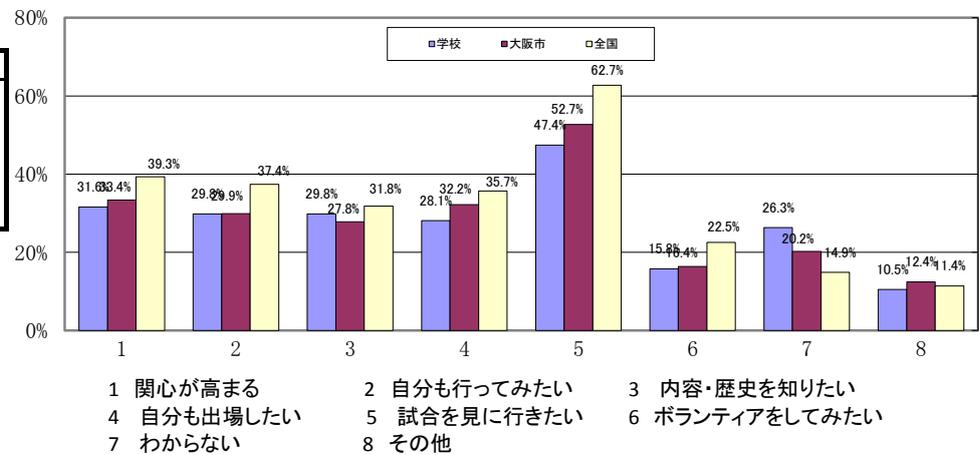
- 授業中の話し合い活動をより充実したものにする取組みをさらに推進していく。
- できるようになった喜びを味わうことで、運動絵の興味・関心を高めていく。

その他（男子）

質問
番号 質問事項

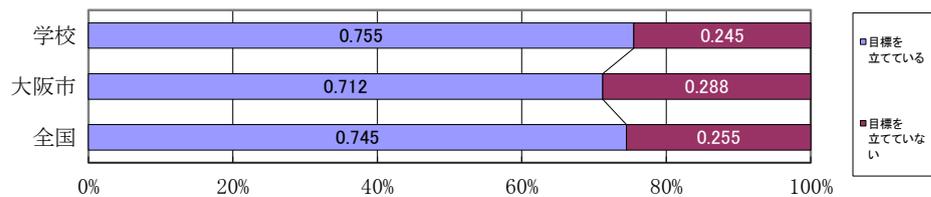
23

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



22

体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか



成果と課題

- 自分なりの目標を立てて、体力テストの向上や運動に取り組んでいる児童の割合が高く、全国・大阪市を上回っている。
- オリンピック・パラリンピックでは、ボランティアをしてみたいという思いを持っている児童が特徴的である。

今後の取組

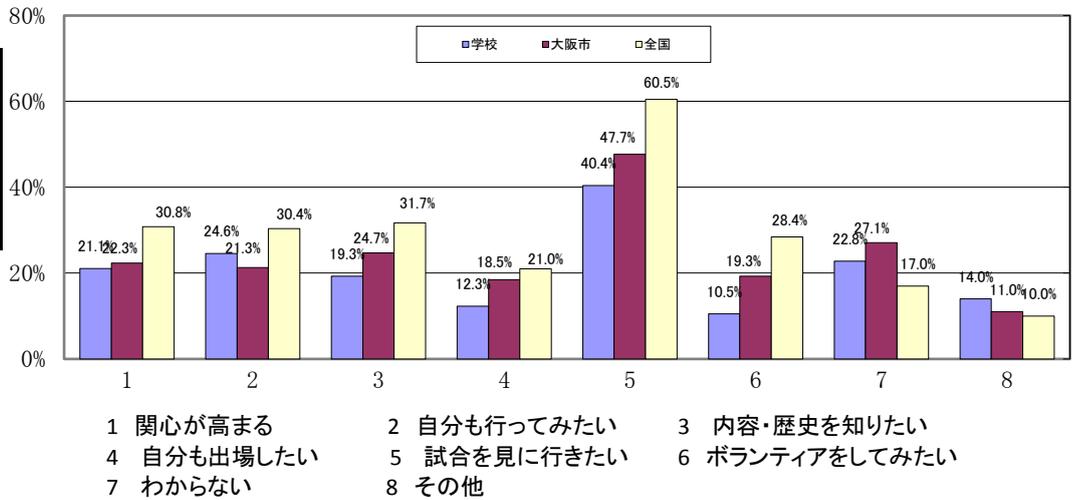
- 難しいことにも、失敗を恐れず挑戦し、できなかったことができるようになった達成感を味わうことにより、運動への興味・関心を高め、進んで体力向上に取り組む児童を育てる。

その他（女子）

質問番号 質問事項

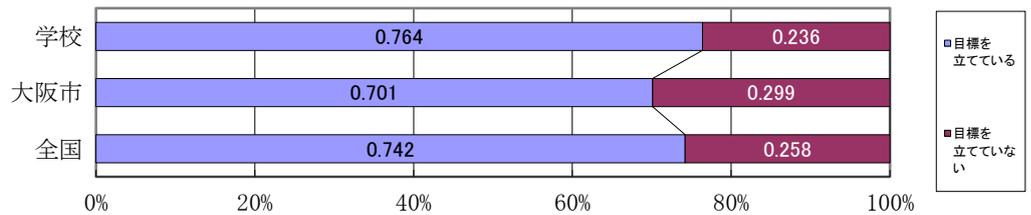
23

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



22

体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか



成果と課題

- 自分なりの目標を立てて、体力テストの向上や運動に取り組んでいる児童の割合が高く、全国・大阪を上回っている。
- オリンピック・パラリンピックでは、試合を見に行きたいという思いを持っている児童の割合が高い。

今後の取組

- 難しいことにも、失敗を恐れず挑戦し、できなかったことができるようになった達成感を味わうことにより、運動への興味・関心を高め、進んで体力向上に取り組む児童を育てる。